*Kansai Geo-Symposium* 2017論文原稿執筆要項（論文タイトル：ゴシック体10.5ポイント）

（1行空ける）

地盤太郎1・○土質次郎2・基礎三郎1（執筆者名）

1地盤工学会・2△△大学工学部（所属）

（1行空ける）

1. はじめに

*Kansai Geo-Symposium* 2017の論文原稿は，聴講者に内容を徹底させ，かつ来聴できない方に講演内容を紹介するために論文集に収録いたします。

申込みの際に提出いただいた題名の変更，内容の大幅な変更は認めません。題名ならびに著者の変更（あるいは追加）をなさる場合には，論文送付の際にその旨明記されますようお願い申し上げます。また，本シンポジウムは，地盤工学会関西支部と地下水地盤環境に関する研究協議会が主催するものですので，特定商品の宣伝等に偏らないようご留意下さい。

2. 内容

原稿は，読者がこれによって十分理解できるように研究の目的，方法，結論をわかりやすく書いて下さい。

3. 原稿用紙・ページ数

原稿用紙はA4サイズとし，必ず原稿はワープロで執筆してください。手書き原稿は受理いたしません。論文原稿の枚数は1編につき，図表を含めて4枚または6枚とします。規定枚数以外の原稿は受け付けません。

4. 単位

　単位はすべてSI単位とします。

5. 書式

5.1 余白

　原稿用紙には上20mm，下20mm，左20mm，右20mmの余白を設けてください。

5.2 文字

　フォントサイズは，論文タイトルは10.5ポイント，氏名・所属および本文は9ポイントとします。文字数は1行に53字，行数は1ページに51行を標準とします。機種によりこの組合せができない場合は，標準以内の文字数，行数に納めるようにして下さい。

5.3 その他

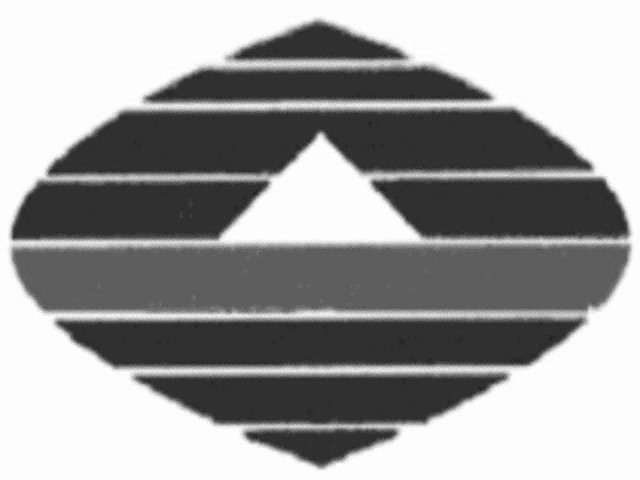
レイアウトについては著者にお任せしますが，見易さに注意して下さい。章は「1. 章の書式」のようにゴシック体で表記して下さい。節及び項は「1.1 節の書式」「1.1.1 項の書式」のようにゴシック体で記載して下さい。

6. 本文

1ページ目には，題名・氏名・所属・本文の順に書いて下さい。なお，題名は1行目中央に書いて下さい。1行あけて3行目中央に氏名を，次の行に所属を書いて下さい。所属の異なる複数の執筆者がいる場合は，氏名のあとに上付数字を付け，それに対応させて所属の前に上付数字を付けて下さい。口頭発表者の氏名の前に○印を付けて下さい。氏名・所属のあと，1行あけてから本文を書き始めて下さい。2ページ目以降は，1行目から続きを書いてください。なお，段組は一段組を標準とします。



(a) RBGカラー



(b) グレースケール

図-1 地盤工学会関西支部のロゴ

7. 図・表・写真

|  |
| --- |
| Paper Format for theKansai Geo-Symposium 2016  Taro Jiban1, Ziro Doshitsu2, Saburo Kiso1 (1Japanese Geotechnical Society, 2△△University)  KEY WORDS: Environment, Soil, Vegetation, Landfill (4~6 words) |

図・表・写真に色使いの制限は特にありませんが，鮮明さや点・線種の違いが識別できるか等，読者が理解しやすいよう工夫して図表を作成してください。薄い色（特に黄色系）は再現されにくいのでグラフの線等に使用することは避けてください。また，図・表・写真にはゴシック体で番号・キャプションを付けて下さい。

8. 英文題名・氏名・所属

英文で論文題名・氏名・所属及びキーワードを原稿の1ページ目の下から2～3行を使用し，記入して下さい。氏名は日常ご使用のローマ字書きを記入して下さい。また，本文と英文題名の間に黒の実線を引いて下さい。

9. おわりに

最後の章は，論文で得られた結論をわかりやすくまとめて下さい。

（1行空ける）

謝辞：謝辞を書く場合には、「謝辞」だけゴシック体とし，「：」の後に明朝体で書いて下さい。

（1行空ける）

参考文献

* 引用文献及び参考文献は，引用順に番号を付けて記載して下さい。（明朝体）
* 論文等は，「著者名（全著者明記，著者と著者の間は「・」を付ける）：表題，雑誌名，巻数，号数，ページ数，掲載年」の順で記載して下さい。
* 書籍の場合は，上記2の「雑誌名，巻数，号数」を「出版社名」として下さい。